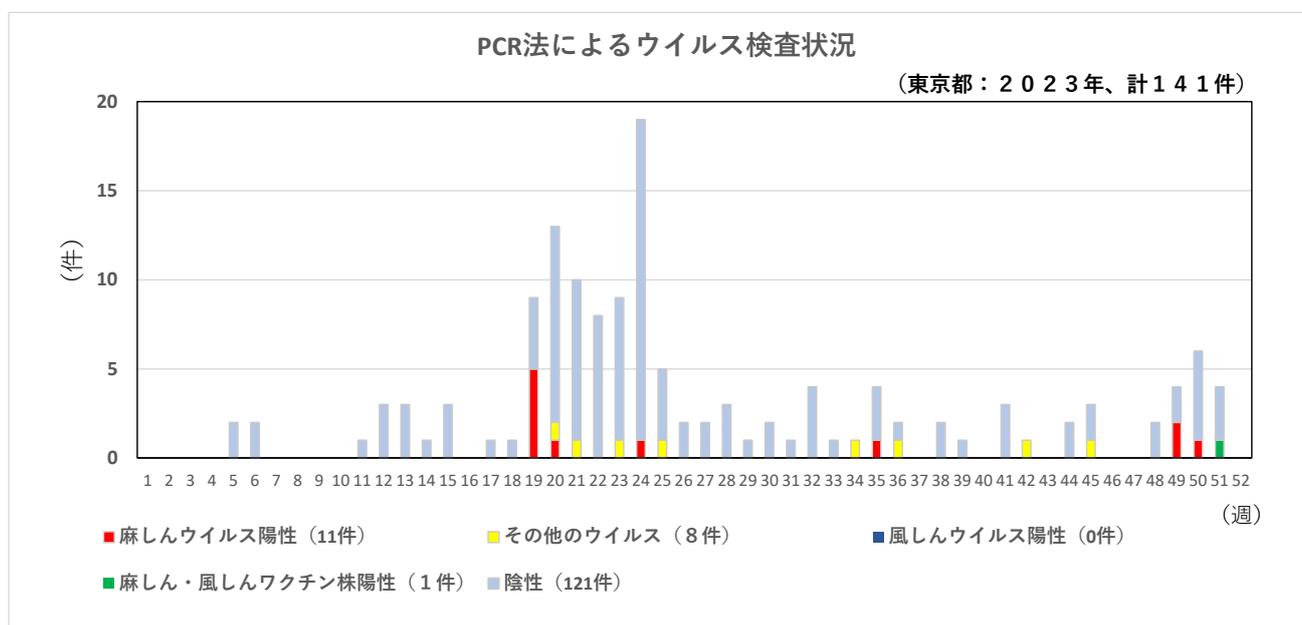


# 東京都健康安全研究センターにおけるPCR検査\*実施状況

(2023年1週から52週まで)

東京都健康安全研究センター

東京都では、麻しんまたは風しんと診断された患者で協力が得られた場合、健康安全研究センターに検体を搬入し、麻しんウイルスおよび風しんウイルスについてPCR検査を実施している。陰性だった場合にはパルボウイルスB19のPCR検査を実施し、2歳以下の患者検体についてはヒトヘルペスウイルス6型および7型のPCR検査をさらに追加して実施している。



2023年1週から52週までで麻しんまたは風しんと診断された患者124名の141検体が当センターに搬入され、PCR検査が実施された。その結果、麻しんウイルスが患者9名(11検体)から検出され、風しんウイルスは検出されなかった。麻しんウイルスおよび風しんウイルスが検出された例(MRワクチン接種後)が1検体あった。その他のウイルスとして、ヒトヘルペスウイルス6型が3検体、7型が1検体、パルボウイルスB19が4検体から検出された。

※PCR検査とは、特殊な酵素を用いて検査対象とするウイルス固有の遺伝子配列を増幅することにより標的となる病原体を検出する方法である。検出感度も高く、検出する対象の塩基配列を変える事により様々な検査に対応することが出来るため、現在では多くのウイルスの検査に応用されている。

<麻しん・風しん患者検体の遺伝子検査結果>  
麻しんウイルス：9患者11検体(全てD8型)  
風しんウイルス(検出なし)  
麻しんウイルス・風しんウイルス：1検体(ワクチン株)  
その他のウイルス  
 ヒトヘルペスウイルス6型：3検体  
 ヒトヘルペスウイルス7型：1検体  
 パルボウイルスB19：4検体

## 2023年 麻疹検出事例

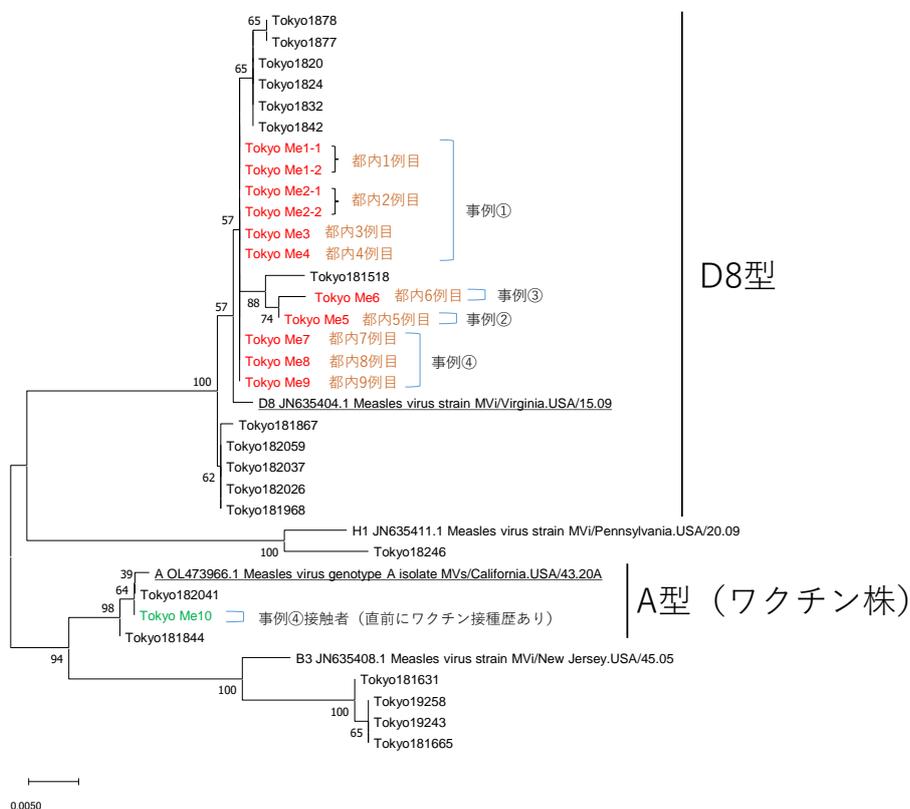
2023年は孤発の海外感染例2事例（事例②、事例③）と5月に茨城県関連（事例①）、12月に都内感染例（事例④）の国内事例があった。

検体番号	性別	年齢	遺伝子型	
Tokyo Me1	女	30～34歳	D8型	事例①：茨城県関連 疫学的リンクの 確認された事例
Tokyo Me2	男	45～49歳	D8型	
Tokyo Me3	男	1～4歳	D8型	
Tokyo Me4	男	1～4歳	D8型	
Tokyo Me5	男	25～29歳	D8型	事例②：海外感染例 (渡航先：インドネシア)
Tokyo Me6	女	35～39歳	D8型	事例③：海外感染例 (渡航先：シンガポール)
Tokyo Me7	女	50歳以上	D8型	事例④：都内感染例 疫学的リンクの 確認された事例
Tokyo Me8	男	1～4歳	D8型	
Tokyo Me9	男	1～4歳	D8型	
Tokyo Me10	女	0歳	A型	

## 麻疹ウイルス遺伝子解析

麻疹ウイルスが検出された検体に対し、N領域450塩基を用いた系統樹解析による遺伝子型別を実施した。さらに、M/F-NCR領域1,141塩基を用いた系統樹解析により、関連性を明らかにした。

### 麻疹ウイルス系統樹 N領域450塩基 (NJ法)



麻疹ウイルス系統樹  
M/F-NCR領域 1,141塩基 (NJ法)

